

単元名 季節の言葉3

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 親しみやすい古文を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。
 (2) 目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選ぶことができる。
 (3) 言葉の響きやリズムに親しみ、秋らしいものや様子を文章に書こうとする。

標準的な展開例

05010208_001

【教材名】秋の夕暮れ (P. 126～P. 127)

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 「秋」に対する見方や感じ方、表現された季節感を味わう。 ★秋らしいものや様子を味わい、文章に書き表そう。 ○秋のどんなところが好きかについて話し合う。</p> <p>○「枕草子」について学んだことを思い出す。 ○「枕草子」を音読したり、暗唱したりする。</p> <p>○秋に関わる言葉や俳句を味わう。</p> <p>2 秋らしいものや様子を文章に書いて交流する。 ○「枕草子」や教科書に出てくる秋を表す言葉を参考に、秋らしいものの様子について文章を書く。</p> <p>○書いたものを互いに読み、交流する。</p>	<p>・教科書の言葉や写真を手がかりに、秋らしいものを思い出させる。</p> <p>・教科書の解説から内容の大体を知り、景色や様子を想像させる。 【評】古文を音読する活動を通して、言葉の響きやリズムに親しむ「知識・技能」を評価する。</p> <p>・二つの言葉や俳句を音読させ、景色や様子を思い浮かばせる。</p> <p>・最初に、自分が感じる秋らしいものを書き出させてから、文章に書かせるとイメージが膨らませやすい。 【評】文章に書く活動を通して、「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】